



回復期から慢性期の脳卒中・循環器病患者の健康寿命延伸を目的とした支援体制の構築

ファイザー 公募型 医学教育プロジェクト助成 外部審査プロセス

I. 背景

ファイザーの Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体が立案・実行するプロジェクト（ファイザーが注力する疾患領域における研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト）を支援します。

この助成は、医療現場において生じているプラクティス・ギャップ（医学的・科学的知識はあるけれど、実際の診療や看護などの実践・行動に移せていない、またはその実践・行動が普及していない）や、“クオリティ・ギャップ”（医学的・科学的知識はあり、実際の診療や看護など、実践・行動はしているけれど、良い結果・成果が得られない）を埋めるためのプロジェクト、すなわち、医療従事者の行動を変革するプロジェクトに対し、助成金として支援するものです。

助成金支援の対象となるプロジェクトについての具体的な内容や、審査／承認のスケジュール等は、本公募内に掲載しています。

プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

II. 応募資格

対象国	日本
申請団体要件	<p>以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関 ○ 医療系の学会・研究会等 ○ 医療系の財団法人・NPO 法人等(疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など) ○ 医師会・薬剤師会・歯科医師会 ○ その他医学教育を事業としている団体(医学教育情報を提供している出版社など) <p>他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。</p> <p>単位供与を行うプロジェクトでは、申請団体は当該単位の認定された団体であることとします。</p>

III. 公募詳細

公募開始日	2021年4月15日
公募対象疾患	循環器
本公募の目的	<p>「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法(令和元(2019)年12月に施行)」¹に基づき、「循環器病対策推進基本計画(令和2(2020)年10月)」²が策定されました。</p> <p>これにおいて掲げられている3つの全体目標のうち「(2)保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」に着目し、主に急性期の治療を終えた回復期～慢性期の患者さんが、居住する地域において症状に応じた適切なケア及び社会生活のためのサポートが受けられる体制を向上させ、健康格差縮小に貢献するプログラムを募集します。</p> <p>本公募の支援対象は、知識の向上そのものではなく、次に記載するプロジェクト例のように、知識を実践に移すため、あるいは実践を成果につなげるための体制・仕組み作りを含むプロジェクトとします。</p>

	<p>したがって、知識習得のみを目的とするような教育プロジェクトは助成対象となりませんのでご注意ください。</p> <p>プロジェクト例：</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期病院から回復期・慢性期病院へのスムーズな患者受け入れのための連携推進 既存の患者電子情報を利用した、スムーズな地域連携のためのしくみ作り 患者の療養、栄養、服薬、リハビリテーションを指導・サポートする多職種での協働のしくみ作り 循環器病の再発や増悪の予防の為に生活習慣の改善や、服薬の徹底等適切な管理及びケアを実践するために、かかりつけ医機能の充実や病診連携を推進するプロジェクト 多職種による疾病管理プログラムとして心血管疾患におけるリハビリテーションの実践を推進するプロジェクト 専門的な緩和ケアの質を向上させ、患者と家族の QOL 向上に繋がるプロジェクト 循環器病の後遺症等に関する知識等について、分かりやすく効果的に伝わる仕組み作り <p>[留意点] 介入試験、臨床試験、非臨床試験、疫学研究等の研究を含むプロジェクトは助成対象外です。研究への支援につきましては、弊社ウェブサイト「研究者主導研究への助成」をご確認ください。</p> <p>その他の留意事項につきましては、弊社ウェブサイト「公募型医学教育プロジェクトへの助成」をご確認ください。</p>
<p>プロジェクトの対象者</p>	<p>医師(各専門医、かかりつけ医など)、看護師、保健師、薬剤師、歯科医師、循環器疾患患者のケアに従事する医療専門家、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、心臓リハビリテーション指導士、心不全療養指導士、医療ソーシャルワーカー等。</p> <p>【注意】対象者が「患者のみ」のプロジェクトは、本公募の対象外です。</p>
<p>本公募の背景</p>	<p>脳卒中、心臓病その他の循環器病(以下「循環器病」)は、我が国の主要な死亡原因であり、国民の生命や健康に重大な影響を及ぼす疾患であるとともに、社会全体に大きな影響を与える疾患です²。</p> <p>こうした現状に鑑み、誰もがより長く元気に活躍できるよう、健康寿命の延伸等を図り、あわせて医療及び介護に係る負担の軽減に資するため、予防や医療及び福祉に係るサービスの在り方を含めた幅広い循環器病対策を総合的かつ計画的に推進することを目的として、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法(平成 30 年法律第 105 号)」が平成</p>

	<p>30(2018)年12月に成立し、令和元(2019)年12月に施行されました。これに基づき、循環器病対策の総合的かつ計画的な推進を図るため、循環器病対策の基本的方向について定めるとともに、都道府県循環器病対策推進計画の基本となるものとして、令和2(2020)年10月に「循環器病対策推進基本計画」が策定され、今後は、本基本計画に基づき、国・地方公共団体・医療保険者が連携して、保健、医療又は福祉の業務に従事する者の意見を踏まえつつ、国民と一体となって取組を進める必要があるとされています。²</p>
<p>現状課題</p>	<p>循環器病は再発や増悪等を繰り返す特徴があり、脳卒中後の後遺症や心血管疾患治療後の身体機能低下等により、生活の支援や介護が必要な状態に至る場合があります。したがって急性期を終えても、適切な管理及びケアを行うこと、また地域でのシームレスなリハビリテーション医療の提供体制構築が必要です²。</p> <p>それに対し、現状では以下のような様々な課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療資源の偏在や地域格差が大きく、かかりつけ医の相互の連携、継続性のあるリハビリテーション医療及び再発予防治療の提供体制、後遺症を有する患者への支援体制への整備が不十分である^{2,3} 医療と介護間で切れ目ない継続的なリハビリテーションの提供体制、再発予防・重症化予防・生活再建や就労等を目的としたアプローチ、専門家を育成しつつ地域の医療資源社会資源を効率的に用いた多職種連携による体制構築が求められる^{2,3} 緩和ケアの提供体制の充実が求められる^{2,3} 後遺症を有する者が適切な診断・治療を受けられ、社会生活を円滑に営むために必要な支援体制(就労支援・経済的支援を含む)の整備・必要な福祉サービス提供が求められる^{2,3}
<p>本公募の助成額</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト1件あたりの上限額:15,000,000円 <p>助成額は、外部有識者等による審査会にて決定されます。</p>
<p>締切日等 スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公募開始日:2021年4月15日 Letter of Intent(1次申請)締切日:2021年5月31日 Letter of Intent 審査(1次審査):2021年7月 Letter of Intent 審査結果通知:2021年8月 <p>(1次審査を通過した場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> Full Proposal(最終申請)締切日:2021年9月 Full Proposal 審査(最終審査):2021年9月 Full Proposal 審査結果通知:2021年10月 <p>助成金はファイザー株式会社との契約締結後、支払い手続きが行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 助成金を使用したプロジェクトの実行:2022年1月～2023年12月
<p>申請方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> 申請はオンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。

	<p>www.cybergrants.com/pfizer/loi</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。 申請に必要な情報を申請システムに英語で入力してください。(最終ページ Appendix A 参照) <ul style="list-style-type: none"> Project Type は “Quality Improvement” を選択してください。 Primary Area of Interest は “CVM-” で始まる選択肢から選んでください。 Competitive Grant Program Name は “2021 GMG L- Establishment of Support System for Healthy Life Extension of Patients with CV disease” を選択してください。 <p>システム上の不具合・エラー等が生じた場合は、ページ下部にある“Technical Questions” よりお問い合わせください。</p> <p>注意事項: 申請タイプ間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>MEG-J 事務局: meg.japan@pfizer.com</p>
<p>助成契約</p>	<p>助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、こちらをクリックしてください。</p> <p>ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。</p>
<p>審査</p>	<p>本公募により受け付けた助成申請は、外部審査委員会によって最終的な助成の決定が下されます。</p> <p>外部審査委員会は、領域の専門家を中心として構成されます。</p>
<p>今後の連絡について</p>	<p>申請受理後、各種案内はメールでお知らせ致します。</p> <p>不足資料・疑義事項等がありましたら、事務局より問い合わせをさせて頂く場合もございますので、予めご了承ください。</p>

リファレンス

1. 令和元年 健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法
2. 令和2年 循環器病対策推進基本計画(厚生労働省)
3. 循環器病対策推進協議会(<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/junkanki.html>)

Appendix A

Letter of Intent Requirements

1 次申請である Letter of Intent (LOI)では、以下項目を参照し、システムへ直接英語で入力をしてください。

Goals and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。またこの目的が申請団体（施設）の目的とどのように一致するのか説明してください。 学習及び期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の全体的な目的を列挙してください。 この目的には、対象者に関する記載だけではなく、プロジェクトの実行によって得られるであろう成果についても記載してください。
Assessment of Need for the Project	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況（プロジェクト対象者のレベルなど）を記載してください。（定量的なデータの記載が望ましい）。 データの収集に使用されるソースと収集方法について記載してください。 現在のレベルと目標とするレベルとの間にギャップが存在することを判断するために、データを分析した方法を記載してください。 ギャップ分析がまだ実施されていない場合は、この情報を取得するためのプランも含めてください。
Target Audience	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの主な対象者（受講者）、及びその対象者の数を記載してください。
Project Design and Methods	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。 プロジェクトに教育イベントが含まれている場合は、そのイベントのトピックと開催形式（セミナー、ワークショップなど）を記載してください。
Innovation	<ul style="list-style-type: none"> 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した（もしくは進行中の）プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。
Evaluation and Outcomes	<ul style="list-style-type: none"> プラクティス・ギャップが解消されたかどうかを、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 判定に使用するデータソース データの収集・分析方法 評価結果とプロジェクトの因果関係を判断する方法 プロジェクトの予想結果を“プロジェクト対象者（受講者）”の観点から定量化してください。

Anticipated Project Timeline	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの開始日／終了日、及び全体のスケジュールを記載してください。
Additional Information	<ul style="list-style-type: none"> その他、上記以外の情報があれば、記載してください。
Organization Detail	<ul style="list-style-type: none"> 申請団体(施設)についての詳細を記載してください。 プロジェクトメンバーを記載してください。 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。
Budget Detail	<ul style="list-style-type: none"> LOI 申請(1 次申請)時では、総予算のみシステム内に入力してください。この予算額は必要に応じて、Full Proposal 申請(最終申請)時に修正することができます。 日本円で入力してください。 予算を見積もる際には、以下の点に留意してください。 <ul style="list-style-type: none"> 弊社からの助成金は「個人費用(懇親会費等の飲食費用、一般参加者の参加費・交通宿泊費など)」や「プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、カメラ、家具、医療機器など)の購入」、「医薬品の購入」、「テキスト、教科書の購入」、「プロジェクトメンバーの人件費」には使用できません。 団体(施設)へのオーバーヘッド(間接費用)は、総予算の 28%を上限に計上することができます。ただし、この費用を含めることにより、本公募で定めたプロジェクト 1 件あたりの上限額を超えることはできません。 消費税込みで入力してください。